

編集後記

■編集委員

委員長

藤 田 郁 代

副委員長

立 石 雅 子

阿 部 晶 子

今 井 智 子

石 坂 郁 代

内 田 信 也

宇 野 彰 準

勝 木 紀 子

倉 内 紀 子

倉 智 雅 子

佐 藤 睦 子

椎 名 英 貴

城 間 将 江

鈴 木 恵 子

中 村 光 一

長谷川 賢 一

春 原 則 一

深 浦 順 合

藤 田 秀 子

水 田 秀 子

矢 守 麻 奈

■英文要旨の校閲

Gordon BATESON

勝 木 準

2020年の春は百年に一度経験するような感染症 COVID-19 との戦いで始まった。この感染症は2019年11月に中国の武漢市で最初の症例が確認されて以来、世界的に流行し、WHOは3月11日にパンデミックとの認識を表明している。わが国では、2020年2月にクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客に感染を認め、その後、国内でも感染者が急増した。4月7日には政府より緊急事態宣言が発令され、人々は3密を避けた苦しい自粛生活を続けてきた。5月中旬には緊急事態宣言の緩和が全国各地で始まったが、この感染症との戦いはしばらく続きそうである。

以前に経験したことがない難局を乗り越えるときに、その国の人々の本来の力が試される。その1つは危機を乗り越えるための人々の結束力であり、結束の要となるのはコミュニケーションである。このようなときには根拠を示して透明な情報を迅速に出力し、それを共有して対処法を考えることが重要である。言語聴覚障害がある人々が複雑に変化する情報にどのように対処しているか、非常に懸念されるところである。3密を避けることは必要であるが、今こそ言語聴覚士や会話支援者は言語聴覚障害がある人の情報格差の問題に向き合い、その解消に努める必要がある。

大多数の言語聴覚士は医療・福祉の現場で勤務しており、その環境は緊張の連続で非常に厳しいものとなっている。このような状況にあっても新規論文や修正論文の投稿は続いており、論文を投稿していただいた方々に心から敬意を表したい。

投稿された論文が誌上掲載されるまでには査読者と出版社の協力が不可欠である。本誌の査読者は臨床・研究・教育の第一線で活躍している言語聴覚士である。平時でも通常業務のほかに査読を担当することは大きな時間的・精神的負担を要求されるが、この非常時に査読を引き受けていただいている方々には頭が下がる思いである。また発行に向けて作業を続けていただいている医学書院の方々にも心を打たれる。

本誌の発行にご協力していただいているすべての方々に深く感謝申し上げたい。

(藤田郁代)

言語聴覚研究 (第17巻 第2号) 2020年6月15日発行[年4回(3, 6, 9, 12月)15日発行]

Japanese Journal of Speech, Language, and Hearing Research

1部定価：本体2,000円＋税

2020年年間購読料：本体7,500円＋税(4冊、送料発売会社負担)

編集・発行：一般社団法人 日本言語聴覚士協会(会長：深浦順一)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-29 アクロポリス東京 9階

(☎03-6280-7628 FAX 03-6280-7629) <http://www.jaslht.or.jp/>

Published by Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists (JAS), Acropolis Tokyo 9F, 6-29 Shinogawamachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0814, Japan

©2020, Printed in Japan

制作・発売：(株)医学書院(代表：金原 俊) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

☎113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23(振替口座 00170-9-96693 番)

販売部直通 ☎03-3817-5659・5660(FAX 03-3815-7804)

印刷所 (株)アイワード ☎011-241-9341(FAX 011-207-6178)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036(FAX 03-3817-8044)